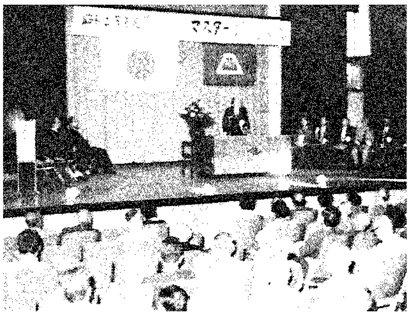
ことぶきマスター実践発表会



八月二十五日(木)市民会館で郡内地区ことぶきマスター実践発表会が行われ、代表六名が体験発表しました。

発表会の前に、五十八年新たに委嘱された郡内地区のお年寄り一七五名（うち都留市三十一名）にマスター証とバッジが交付されました。

ことぶきマスターとは……

お年寄りの方々の長い人生経験から培ってきた知識や技能、生活の知恵などを、社会に生かしていただくため、また生活文化伝承とあわせて、お年寄りの多様な生きがいを開発するために、昭和五十六年度からはじめたものです。

今年度新たにことぶきマスターに委嘱された、中大路千代子さんにこれからの抱負を語ってもらいました。

バッジを胸に 社会のために

△上谷一丁目 中大路千代子さん

美しい富士山と清らかな水に恵まれた都留市において、去る八月二十五日望月知事さんから寿マスター証とバッジの交付をうけて、私達六十五歳以上の人達は大きな感動をうけました。当日皆様の代表で私は「誓いの言葉」をのべました。

「本日ここに私達一七五名は、ただ今、望月知事さんからことぶきマスター証並びにバッジの交付を受け、大きな誇りと責任を強く感じております」と読みあげながら、これからの人生をもっともっと地区のためにつくすことを心に誓いました。美しい心と心のふれあいがかたく実を結んで人生最後をかざるべく努力をいたす覚悟をいたしました。

〝寿マスターのバッジを胸に
　栄光への道ひらけたり
　　今日のよろこび〟

各地区の代表と芸術、芸能、趣味、教養の向上をはかり、人と人との和の姿をより一層ふかめ、強くかしこく社会の為につくしたいと念じております。明治、大正生れの美しい心と心のふれあいの場をより一層もりあげてゆくべく、私は努力いたしてゆく覚悟でおります。

童心に帰って 孫と一緒に!!

園児 福祉のまちづくり事業

九月八日(木)三吉保育園に、園児とともにおじいちゃん、おばあちゃんが集合！

これは、福祉のまちづくり老人部会主催で、三吉保育園とその保護者の協力で開かれた「老人と子供のつどい」。

「結んで開いて手を打って結んで………」まごまごしたのは誰かな？

ユーモアたっぷりに老人、父兄、子供と入り交じったフォークダンスで始まり、幾つかの遊技を通してふれあいを深めました。

昼食は、父兄の作ったみそ汁に、市長さんから頂いたお寿司を前に「箸とらば天地み代の御恵み、お父さんお母さん、みなさんに感謝しよう」と合掌し、腹一杯にごちそうになり、午後はおじいちゃんの子供のころの遊びやお話に、また、おばあちゃんの紙細工の手ほどきで、明日への夢を育てようと一日楽しいつどいでした。

△歌いながらさぁーおどろう

『想い出の桂川』を作詞

夏狩　志村吾重氏

来年が都留市制三十年に当たるについて、夏狩に在住の志村吾重さんが作詞をした想「想い出の桂川」のカセットテープを教育委員会に届けてくれました。職員一同、録音テープを聞き、哀愁性の高い都留市のほのぼのした歌に魅了され、愛唱歌として期待出来ると好評を呼びました。

志村吾重さんは、俳句、詩等文芸作家として素人ばなれをした勤労者であります。

今後も都留市の歌をどしどし作ると、青年顔負けの笑顔で語ってくれました。

一番の歌詞は次の通り

一、城山宿の月あかり
　ゆく春の声のてまり花
　河鹿啼く声なつかしく
　あゝ、あゝ、うるわしの桂川